



加納光於 1977-1987 版画

『強い氷—夢のピピルス』

1988年11月1日金 → 12月7日水

入館料—一般500円(450円) 高・大生400円(350円) 小・中生100円(50円)
 ()内は30名以上の団体料金および割引入館料

休館日—毎週木曜日 開館時間—10:00AM → 6:30PM
 (入館は6:00PMまで)

鼎談—加納光於、吉増剛造、三浦雅士
 11月27日(日)4:00PMから

○美術館 オー美術館

山手線大崎駅東口下車徒歩1分 大崎ニューシティ2号館2階
 東京都品川区大崎1-6-2大崎ニューシティ2号館 TEL.495-4040

加納光於 1977-1987 版画

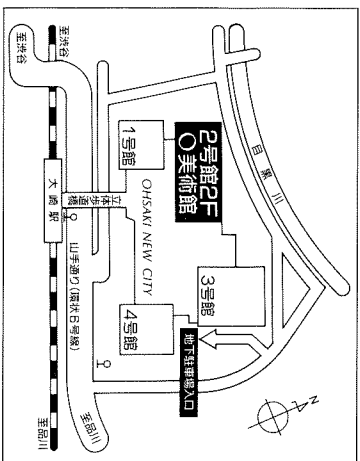
《強い水—夢のバベルス》

その比類ない作品世界で著名な、加納光於(かのうみつお)は、現代日本の代表的な版画家として知られていますが、その制作活動は、ほとんど独学の中ではじめた版画制作にとどまらず、版画という範疇を超えて、様々な素材に取り組みました。

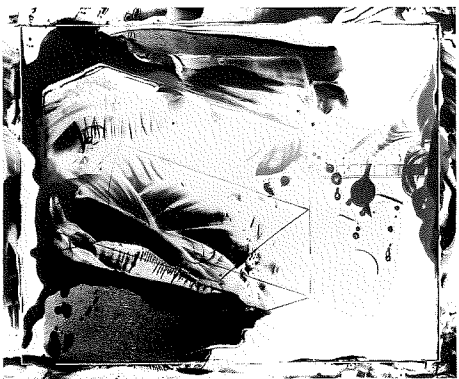
1977年、氏は、初めてのリトグラフ「稲妻捕り」を発表し、本格的な色彩の世界を展開しましたが、1980年以降には、油絵具の研究・開発まで自ら行った、油彩画の大規模な連作「挑み、反響を呼んだことはまだ記憶に新しいところです。氏は、その後、ふたたびステンシル、リトグラフを制作し、あらたな版画制作の展開をみせています。

加納光於の近年の版画作品は、その変容する形態から、見る者に様々なイメージを喚起させます。それはまるで宇宙の生成の場に立ち合っているかのようであり、さえあります。徹底した素材の血肉化の上に成り立つ、紙・亜鉛版・絵具・水の化学変化によるそのドラマは、近年、より重層化し構造的になり、絵画が鏡面のごとき様相を呈しています。

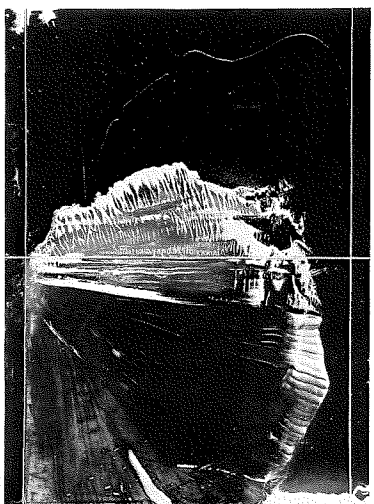
本展は、作者のみならず、日本版画史上の一つの到達点であろう、1977年の「稲妻捕り」から、最新作までの10年間の全版画110 数点と制作ノート、初めて一堂に展示するものです。



- 交通 山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分
- 駐車場 東急バス(大井町駅→津谷駅)大崎駅徒歩1分
美術館専用駐車場はございません。
お車でご来館の場合、「大崎—ニューシティ」
地下2Fの駐車場(有料)をご利用ください。



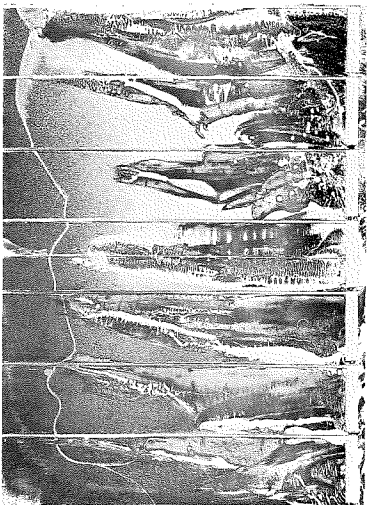
《稲妻捕り》L.No.18V 1977



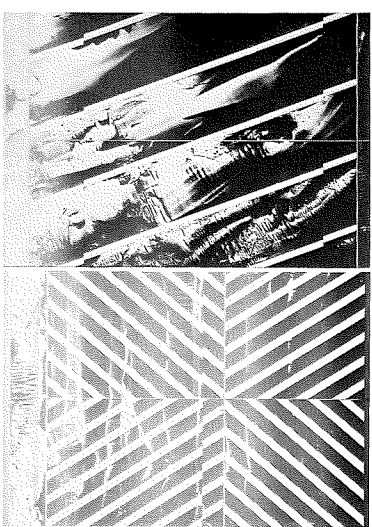
「波動説」No.12 1984—1985



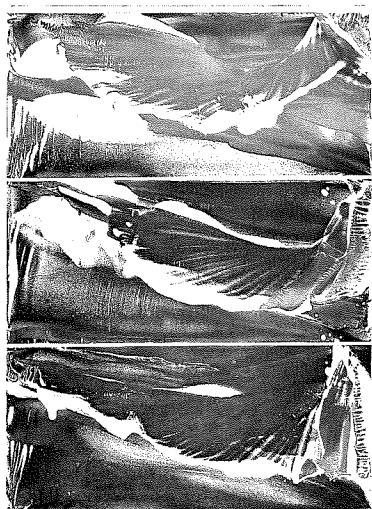
《挑み、反響を呼んだこと》PR-1 1986



「波動説」No.24 1984—1985



《Illumination》L.No.21 1985



「波動説」—addendum I 1986